

主な内容

4月1日から自転車でヘルメットの着用が努力義務になります 2面
ポイ捨て・路上喫煙について ほか 3面
新しくなったテーマ展示室 4・5面
新型コロナウイルス関連情報 ほか 8面

発行／浦安市
所在／〒279-8501 千葉県浦安市 猫実一丁目1番1号
編集／企画部広聴広報課
☎047-351-1111(代表)
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

市の人口と世帯 人口=169,541人(-95) 男=82,420人(-44) 女=87,121人(-51) 世帯数=83,196世帯(-19) 令和5年2月末現在()は前月比

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

4月1日(土)

郷土博物館の展示室が
リニューアルオープン
します

新しいテーマ展示室では、これまで展示していた漁師町の歴史や伝統文化の紹介に、海浜都市として躍進してきた浦安市のまちづくりの展示などが加わります。ふるさと浦安をより一層知ることができるようになった郷土博物館に、ぜひおいでください。

問 郷土博物館 ☎305・4300

ID 1002043



新しくなった展示室は4・5面へ

リニューアルオープン記念イベント

時 4月1日(土)・2日(日)
午前9時30分～11時30分、午後2時～3時30分

内容 学芸員による展示解説ツアー、べか舟乗船体験、のり焼き体験、浦安クイズ(1日のみ)など

※申込不要、直接会場へ。クイズ参加者先着各100人にはあっさり君鉛筆をプレゼント



ID 1039183

郷土博物館 概要

所	猫実1-2-7
電話	☎305・4300
開館時間	午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
休館日	月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)、祝日の翌日、館内整理日、12月29日～1月3日

新しくなったテーマ展示室



浦安の原風景 在りし日の干潟にタイムトリップ!

かつての浦安の干潟をジオラマと映像で再現しました。広大さや潮の満ち干のドラマチックな変化、野鳥や海の生き物たちの世界を体感することができます。



見どころ 干潟ジオラマ
ヨシ原や、風と波による干潟模様、貝やかニなどの造形で、豊かだった干潟の情景を見ることができます。

見どころ 写真と音による「浦安の原風景」
昭和30~40年代に撮影された浦安の風景写真と同時期に録音された音声で、在りし日の干潟へ皆さんを誘います。



漁師町浦安

ハマ(海)からオカ(陸)の生業の世界

浦安が東京湾の魚類の流通拠点へと成長した経緯や、漁業・のり養殖・貝加工、稲作やハス作りなどの多彩な生業を見ることができます。



民俗担当学芸員 尾上 一明
浦安の興りから江戸時代の発展、漁師町として繁栄した経緯を、文献資料、民俗資料などで紹介します。猫実地区で採取した地層剥ぎ取り標本や、浦安の特徴ともいえるアオギス釣りの脚立など、多数展示された実物の迫力をぜひ感じてください。

見どころ 江戸の発展とともに
江戸の発展とともに栄えていく浦安の姿を、地形図や古文書などで紹介します。



見どころ 地層剥ぎ取り
猫実地区の、比較的高い土地の剥ぎ取り標本を紹介します。古代から現在に至るまでの歴史の流れを、土地の断面から読み解いていきます。

見どころ 漁師町の繁栄
魚漁、貝漁、のり養殖、農業の世界を民俗資料や模型などで展示し、豊かで多様な生業の形態を紹介します。



新しい町浦安

激動の転換期を乗り越え、漁師町から海浜都市へ

漁業権を放棄し、海面を埋め立てる決断をした経緯や、高度経済成長期の交通・住宅事情などが追い風となって進められたまちづくりを振り返ることができます。



見どころ 黒い水事件(本州製紙事件)
昭和33年6月10日に起きた事件のニュース映像をモニターで見ることができます。

見どころ 浦安の発展を年表で紹介
埋め立て以降の主な出来事や人口の推移などを紹介します。

歴史担当学芸員 袖山 早希絵
埋め立て開始以来の50年間で、浦安がどのように現在の姿へと成長してきたかをたどります。市民の皆さんにとっては懐かしい思い出もあれば、知らなかった歴史もあるかもしれません。これまでの浦安の歩みを振り返るとともに、これからの浦安にも思いをせながらご覧ください。

見どころ 大型映像
埋め立て開始以来50年間の浦安の歩みを、当時の映像とダイナミックなCGで紹介します。

見どころ 埋め立て工法模型
どのようにして広大な海面を埋め立てていったのか。映像とともに、わかりやすく模型で紹介いたします。

歴史担当学芸員 林 奈都子
戦後、キティ台風や黒い水事件などの苦しい経験を経て、漁業権放棄と埋め立てを決断していく経緯をぜひ市民の皆さんに知っていただきたいと思っています。当時のニュース映像や記録文書から、海との別れを覚悟していく人々の思いや新しいまちづくりへの希望を感じることができます。



浦安の自然

埋め立てによる環境の変化と生き物たち

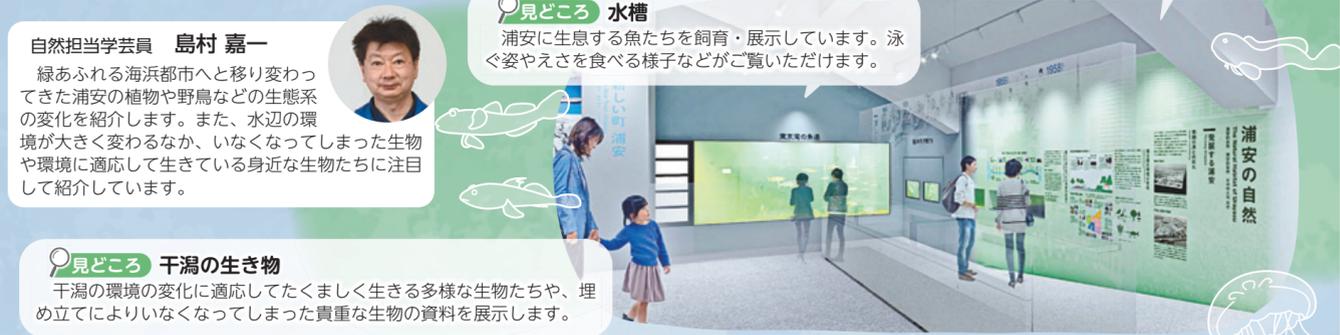
境川や東京湾で暮らす魚たちを水槽で見たり、市内で観察された植物や野鳥、干潟で生きる多彩な生き物たちを知ることができます。

自然担当学芸員 島村 嘉一
緑あふれる海浜都市へと移り変わってきた浦安の植物や野鳥などの生態系の変化を紹介します。また、水辺の環境が大きく変わるなか、いなくなってしまった生物や環境に適応して生きている身近な生物たちに注目して紹介しています。

見どころ 水槽
浦安に生息する魚たちを飼育・展示しています。泳ぐ姿やえさを食べる様子などがご覧いただけます。

見どころ 都市の中の自然
埋め立て地の植生や、誕生した広大な陸地にどのように生物がやってきたのか。そして、開発と都市化によって生物がどう移り変わってきたのかを紹介します。

見どころ 干潟の生き物
干潟の環境の変化に適応してたくましく生きる多様な生物たちや、埋め立てによりいなくなってしまった貴重な生物の資料を展示します。



ほかにも、屋外展示場「浦安のまち」、船の展示室「海を駆ける」は引き続きご覧になれます

展示解説ボランティア育成講座(歴史部門)

時 4月23日(日)・5月21日(日)・6月4日(日)・18日(日)・7月2日(日)・16日(日)・23日(日)午後2時~4時(全7回)
内容 リニューアルしたテーマ展示室について学ぶ
申込 3月23日(休)午前8時30分から、直接または電話で、郷土博物館 ☎305・4300へ
対象 高校生以上で、講座修了後は展示解説ボランティアとして活動できる方、先着12人